

令和元年度 活動報告 「スタートアップ部門」

団体名 **大幸東団地ふれあいひろば**

団体概要

巨大団地の住民同士の交流と高齢者の孤立化が進んでいる。災害時のためにも、定期的に住民交流の場を提供し、多世代交流・多文化共生のコミュニティづくりを目指す。「だべりing」の開催により、団地住民が気軽に立ち寄れる場を提供。住民同士のコミュニケーション、関係づくりを図る。季節行事やイベントの開催。広報活動。

活動名：大幸東団地ふれあいひろば「だべりing」

1 活動の目標をどの程度達成できたか

予定期間（2019年6月～2020年2月）において、2回/月の計画日程全てとプラスαの特別企画が実施できた。



参加費100円！
飲み、お茶、お菓子
お持ち込み！

だべりing

参加目的自由！
ただ雑かと思いたいだけ
歌と一緒に歌いたい
誰かに相談したいことがある
団地の防災について意見交換したい

場を提供します

特設：1/26、2/11、2/23、3/10、3/22

※毎月 第2土曜日に開催
入場自由
お茶、お菓子、飲み物
お持ち込みOK！

午前10時～午後2時

場所：大幸東団地集会所 洋室/和室

お問い合わせ先：yamacost@gmail.com
050-3588-2311（IP電話）

主催：大幸東団地ふれあいひろば



2 活動の成果

- ① 予定期間内で16回の例会＋特別企画に延べ157名の参加があった（2020年2月末現在）。
- ② 高齢者のシャベリ場となり独居者相互の交流ができた。
- ③ 昼食持ち込み自由、会場出入り自由にしたことで昼飯を交換しながらのシャベリ場となった。
- ④ 団地外住民の協力で目先を変えた会も開催できた。
- ⑤ 団地特有の防災特性について情報交換する機会となった。



弁当おやつ交換

3 目標達成のために努力したこと（工夫）

会場は団地集会場であるが活動が団地住民から見えにくい。そのため

- ① 食品持ち込み自由、入退室自由、当日持ち込み企画自由、会費不要（カンパあり）とし参加を可能な限り低くした。
- ② 会の開催広報は毎月団地掲示板（計28か所）へ毎月更新掲示した。
- ③ 東区のコミュニティサポーター制度を利用してサポーターを派遣してもらった。



4 活動で得た学び（みんなに伝えたいこと）

団地住民は一般的に独居者を除いて隣近所との付き合いを欲していない。しかし、防災の観点では最低の共助ルールは作っておきたいと考え、会を始めたが、高齢者主体の参加者となってしまったのでその目的は達成できなかった。本来その目的の組織である自治会も全く不活発である。会場借り上げ費、ポスター印刷費も任意団体継続にとっては重い課題であることを改めて認識した。

